

# The Whisper from Amherst

## エミリーのささやき

エミリーが育ったアマースト町は、宗教色の強い町で、堅信礼(幼児洗礼などですでに洗礼を受けた者がキリスト教徒として強められ、信仰告白を行う儀式)を受けない者はこの町に住まわせないというような激しさで信仰復興運動が繰り返し行われていました。彼女はそのような閉鎖的な教会に苦しみ、拒絶し、それでもどこかに心を寄せることのできる神はいないかと求め続けていました。この詩はそのような迷える彼女の信仰心が書かせたものです。

## 'The Lightning is a yellow Fork'

The Lightning is a yellow Fork

稲妻は黄色いフォーク

From Tables in the sky

空のテーブルから

By inadvertent fingers dropt

うっかり 指が落としたもの

The awful Cutlery

決して開かれることのない

Of mansions never quite disclosed

決して閉ざされることもない神の館の

And never quite concealed

畏ろしい刃物

The Apparatus of the Dark

無知を暴く

To ignorance revealed.

暗闇の道具